さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

高齢者 農作業で社会参加

北杜市 「農福連携」へ実証事業

北杜市は、高齢者が農業に関わる「農福連携」の実証事業を始めた。高齢者の機能訓練と社会参加を促し、農業の人手不足解消と、福祉と地域農業の持続可能な仕組みづくりを目指す。〈近藤愛花〉

市農政課と介護支援課によると、市の高齢化率は41・2％で年々上昇傾向にある。実証事業は、人手不足に苦慮する市内の農業者と連携し、高齢者の生きがい向上や健康増進、孤立防止につなげる狙いがある。2027年度末までを予定している。

対象は市内の65歳以上で月1回程度、1日2、3時間の作業を予定。健康状態や体力に応じて収穫や選別、出荷準備などの作業を担う。現在計18人の登録がある。

初回の27日は、66～87歳の8人が参加。有機農業を実践する農業法人「ファーマン」と連携し、同市高根町長沢の同社作業所でジャガイモのサイズ選別やタマネギ畑の除草作業に取り組んだ。

参加した同市高根町箕輪新町、安達成正さん(87)は「体を動かす機会にもなるし、人との交流の場にもなる。作業をすることで少しでも役に立てたらいい」と話した。

市は1時間500円の有償ボランティアとして募集。専用フォーム＝QRコード参照＝から応募できる。問い合わせは市農政課、電話0551(42)1350。



ジャガイモのサイズ選別をする参加者＝北杜市高根町長沢

QRコードから動画を見られます

（2026 年 10 月 28 日付 山梨日日新聞 22 面）

問1

北杜市が、高齢者が農業に関わる「農福連携」の実証事業を始めた目的を答えてください。

問2

高齢者は、どのような農作業を行う予定ですか。

問3

この事業が農業と福祉の両方に役立つと考えられる理由を、答えてください。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.